

請 願 文 書 表
(令和7年第2回定例会)

請 願 第 8 号	令和7年6月11日受理
付 託 委 員 会	文教経済常任委員会
件 名	国道296号他、大和田小学校、大和田中学校通学路の道路状況の改善、整備に関する件
紹 介 議 員	菅野文男議員
請 願 要 旨	<p>市長選挙活動中に、市民からの声を賜りえた為、ここに願い出ます。</p> <p>子どもたち（児童生徒）が通う通学路の安全管理や、安全に通学する為の交通安全指導、そして地域住民の方々のボランティア精神にもとづく緑のおじさん、おばさん活動、見守り活動等、たくさんの人々のご尽力により、たいせつな市の宝である子どもたちの命を守っていただいています。</p> <p>さて、296号道を歩む子どもたちの数は、総数何百、千数百はあろうかと存じます。296号と、大和田中学校正門へと続く道の合流点は、当然信号機のある交差点であります。しかしながら、今こちらには貸し倉庫の敷地が296号道のギリギリまで至っており、又、柵が設けられている為、赤信号の時の滞留場所もなく、非常に危険な状態と思われます。交通安全指導員の方々が、毎朝、雨の日も風の日も子どもたちの命をいや護ってくださっています。彼ら彼女らの尽力のみに頼りきって行政として、何とも残念な想いを致すのは私だけではないと思われます。民間私有地であるため、交渉の途につくことさえもままならないのかもしれませんが、しかし命を喪ってからは遅いのです。どうか、この通学路における危険予防の為の策を講じていただきたく心よりおねがい申し上げます。又、大和田小学校へと導かれる道の先には、横断歩道も橋も設けられています。しかしながら、橋は古く、さびやわれ目塗装のはげ、そして雑草と、ひいき目にも綺麗に手を入れられたものとは言いがたいところです。安全点検をしていただきたく、お願い申し上げます。</p> <p>いずれにいたしましても、経年劣化や民民の問題はいかんともしがたいことは存じ上げております。しかしながら、やはり“命を護り抜く”ことを、その気概を持って事態に対処していただけますことを心より重ねてお願い申し上げます。</p> <p>< 請願要旨 ></p>

請 願 文 書 表
(令和7年第2回定例会)

1. 大和田小、大和田中通学路（296号沿い、陸橋含む）の安全点検、保守管理をすること。